

* 大分大学大学院工学研究科博士前期課程
** 大分大学理工学部・准教授 博士(工学)
*** アーキテックス株式会社
野由香 ** 永友拓実 *** 後藤大輝 *

○清川智裕* 姫野由香** 永友拓実*** 後藤大輝*

4. 大分県竹田市城下町のデザインコード抽出

竹田城下町地区内で 547 棟を調査対象とした
本章では、竹田修景ガイドラインで建築物の形態・意匠として規定されている
「屋根」・「外壁」・「出入り口・窓」の外観構成要素に着目し、過去の土地利用⁴⁾に基づく
町人地ゾーンと武家地ゾーンにおける各年代のデザインコードを明らかにする

表4 町人地・武家地における年代別外観構成要素

年代	江戸期		明治期		大正期		昭和前期		昭和後期平成	
ゾーン名	町人地	武家地	町人地	武家地	町人地	武家地	町人地	武家地	町人地	武家地
山手・上野・池袋	18	4	34	2	2	4	31	12	210	108

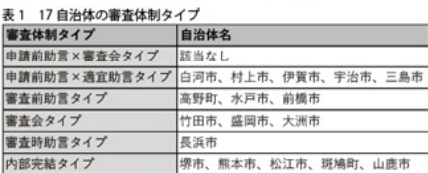
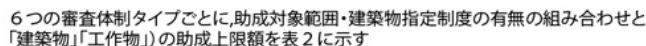


表2 助成対象範囲と建築物指定制度の組み合わせ



1. 申請前助言 × 適宜助言タイプの自治体

伊賀市以外の 4 自治体が助成する
対象の助成上限額が平均以下

助成上限額を低く設定
する傾向にある

要因には…
助成金交付決定までに設計者、
行政、専門家などを交えた
意見交換を行う機会が**狭小**
あるため、助成金額ではなく、
指導や助言によって景観形成を
図っているためなど

表5 表4町人地・武家地における年代別外観構成要素 一部抜粋

切妻が 47.1%、複合屋根が 21.4%、
陸屋根が 17.6% を占めている

町人地ゾーンにおける昭和後期・平成
の屋根形状のデザインコードは、
切妻・複合屋根・陸屋根

助成基準は、これらの構法を
採用・推測することが妥当

今後の課題	広告物等の工作物に関する基準の検討
-------	-------------------